

— オリンピアン的心と写真家の眼 —

高田静雄展 平和への道



《平和への道》 1958年

2021年

6月26日(土) → 8月29日(日)

開館時間／11:00～17:00(入館は16:30まで)

休館日／月曜日(8月9日は開館)

入館料／一般300円、学生150円、中学生以下無料

主催／公益財団法人泉美術館、中国新聞社

後援／広島県教育委員会、広島市、広島市教育委員会、中国放送、広島テレビ、
広島ホームテレビ、テレビ新広島、広島エフエム放送、FMちゅーピー76.6MHz

公益財団法人 泉美術館

高田静雄展 平和への道

— オリンピアン的心と写真家の眼

写真を通して平和やスポーツの尊さを伝えた高田静雄。スポーツを競技者の目で切り取った作品や、平和記念公園や慰霊碑に取材した作品を残しています。

1909(明治42)年広島市に生まれた高田静雄は、戦前は砲丸投げ選手として日本記録を3度更新し、1936(昭和11)年のベルリンオリンピックには日本代表として出場するなど輝かしい成績を残しました。一方で、1945年爆心地から約680m(中区小町)の職場建物内で被爆し、以降後遺症に苦しみながらも写真家として活動した異色の経歴を持つ作家です。

慰霊碑前で一步を踏み出すアメリカ夫婦を撮影した《平和の道》は高田の代表作です。選手時代の国際大会での国の垣根を越えた交流は彼の写真に影響を与えました。微笑みながら夫婦が一步足を踏み出している本作には世界の人々と「平和への一步」を共に踏み出すという高田の思いが込められています。

広島で初めての本格的な展覧会になる本展では、ベルリンで撮影した写真に始まり、身近な広島の風景を捉えた晩年の作品群まで約80点を展示します。オリンピックの心を持って激動の時代と人々を見つめた、高田静雄の足跡を紹介します。



1



2



3



4

関連催事

ゲストトーク

講師：高田トシアキ(写真家・本展企画者)
日時：7月3日(土) 14:00～(約30分)
参加無料・定員15名(先着順、要入館券)

学芸員による展示解説

日時：7月24日(土)、8月7日(土)、21日(土)
全日14:00～(約30分)
参加無料・予約不要(要入館券)

- 1.《準備運動》1958年
- 2.《無題》制作年不詳
- 3.《スポーツマンシップ》1959年
- 4.《聖なる道》1959年



高田静雄(たかたしずお)

1909年広島市に生まれる。戦前は「砲丸王」として活躍し、1929年より24年間日本記録を保持した。その間自身の記録を2度更新し、1936年にはベルリンオリンピック出場。1945年原爆投下時爆心地近くで被爆、その後撮影活動に入る。

1957年より「陸上競技マガジン」にて《競技の心》を連載(全40回)。《準備運動》が1960年のローマオリンピックのスポーツ写真展に入賞するなど、写真家として評価された。

1963年病状が悪化し54歳で生涯を閉じる。



- JR山陽本線「新井口駅」から徒歩約10分または、アルパークバスローターより「LECT行き」乗車、「商工センター2丁目」下車徒歩1分
- 広電宮島線「草津南駅」から徒歩約7分
- 駐車場無料(エクセル本店駐車場をご利用下さい)

公益財団法人

泉美術館

〒733-0833 広島市西区商工センター2-3-1エクセル本店5階

TEL 082-276-2600 FAX 082-276-2612

HP <http://www.izumi-museum.jp/>